

根津鋼材

青梅事業所のレベラー・ロータリーシヤール

来夏更新、物流部門強化も

有力コイルセンターの根津鋼材（本社・東京都荒川区、社長・根津訓光氏）は2025年夏に関東事業部の青梅事業所（東京都青梅市）のレベラーとロータリーシヤールをリニューアルする。また同事業所では23年から物流部門の運送部を充足させており、デリバリーの強化、物流環境の改善・整備も進めている。

更新する設備はレベラーラインの基幹部分に当たるレベラー本体とロータリーシヤール。加工可能な板厚サイズを現行の0・4～2・3ミリから0・3～3・2ミリへと拡充し、従来

よりも板厚レンジを広げる。レベラーは協和製作所製で25年8月にリプレースする予定。さらにミニレベラーも新設する計画もある。このほか同事業所では物流2024年問題

などに対応し、23年から運送部を充足させた。根津鋼材グループでは須賀川（福島県）、長沼（福島県）、蓼科

（長野県）、相模原（神奈川県）に続いて5拠点目となる。青梅事業所の輸送車両は現在、5台（トレーラー

3台、15ト車2台）を保有（根津鋼材グループ全体では42台）。さらに25年には青梅事業所にもう1台導入する予定だ。

